

群馬県教育ビジョンの策定に向けた想い

【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう——それが、この「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしていくのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。

私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん——時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体（メンバーの一人）なのです。

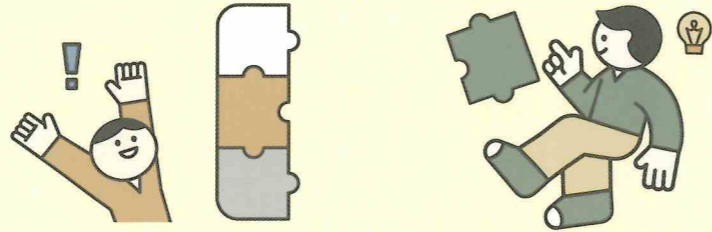
ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか？「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない」そんなふう感じてはいませんか？

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めているから、自分ではどうしようもない——そのように思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人きりで今すぐに社会を変えることは難しいかもしれませんが、それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰しも、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。



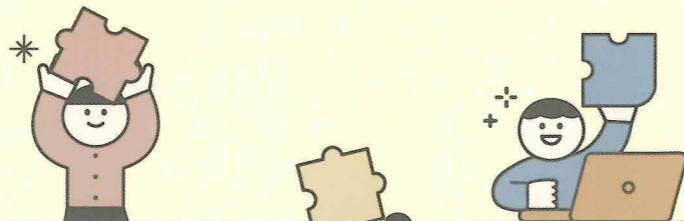
この計画の内容を考えるときに、高校生と大学生が参加するワークショップを行いました。そこでは、「後輩に引き継ぎたい理想の学校はどんな学校か」、「学校に留まらない、これからの未来に向かう学びは、どのようなものになるとよいか」について意見を出し合いました。「生徒が主体的に動ける学校になるとよい」、「自分に合わせて意欲的に学べて、先生がサポートしてくれる環境が多くあるとよい」、「横（学校や各自のコミュニティ）や縦（年代）の広がりのある学びになっていくとよい」といった意見が多く出ました。

こうした「自分とみんなのために動きたい」、「そのために自分の意志で学びたい」という気持ちを伸ばしていくのか、それとも損ねてしまうのか。それは、皆さん自身の考え次第です。また、周りの大人の関わり方や環境によっても変わるでしょうし、そこには教育の在り方も大きく影響すると考えています。

群馬県教育ビジョンでは、児童生徒の皆さんを「一方的に教えられ、守られるだけの子ども」とは考えません。皆さんそれぞれの年齢や状況に応じて、自分の頭で考え、判断し、行動できるようになるための力を身に付けてほしいと願っています。

群馬県の教育をより良いものにしていくために、更には、この社会をより良いものにしていくために、児童生徒の皆さんと私たち大人とが、共に力を合わせていけたら素晴らしいことだと思います。

群馬県教育委員会

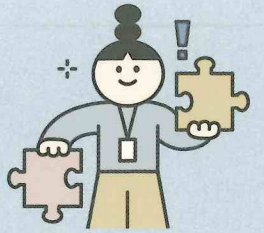


群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから



第4期 群馬県教育振興基本計画 群馬県教育ビジョン

計画期間：2024年4月～2029年3月



最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

相談していいし、
助けを求めても
いいんだよ

「学ぶ」って
楽しい

試行錯誤しよう。
失敗してもいいのだと知ろう。
それが自分を強くしてくれるよ。

「ナナメの関係」や
「ゆるいつながり」も
大事なんだよ

知らないことを
知るの楽しいよ

リアルでも、
デジタルでも
色んなつながり方
でいいよ

社会をつくるのも変えていくのも
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

動き出してる
仲間もいるよ

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

**人は、誰しも、生まれついて自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。**

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？

2024年3月 群馬県教育委員会

より良くしたい気持ちは
誰もが持っている。
大人も 子どもも それぞれが
社会を形成するメンバーだ。

— 持ち続ける視点① —
大人も、子どもも、
社会的な“一人の主体”

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

群馬県の教育が目指す5つの学習者像

自らが主語
となる学びを
つくり、
深めていく

対話と
交流により、
信頼関係を
築いていく

生涯にわたり
学び続ける
喜びを実感し、
共有していく

多様性を
尊重し、
互いに
認め合う

社会課題を
自分事化して、
行動に移す

“学び”は学校だけじゃない。
様々なつながりで
様々な場所で
様々な学び合いを。

— 持ち続ける視点② —
学校で、家庭で、地域で…
自ら学び育つ、共に学び育つ

目指す学習者像実現のための5つの重点政策

1

変化の激しい社会に対応できる 資質・能力の育成

発達段階や個性、興味関心に応じた一人一人の主体的な学びを通じて、知識・技能等の認知能力と学びに向かう力等の非認知能力を相互に強化しながら身に付ける

- 自ら学びをつくる力の育成
- 自ら考え、判断し、行動できる力の育成
- 自立の基盤となる資質・能力の育成

2

多様性を尊重し、 協働する力の育成

全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすとともに、一人一人が自分を大切に、異なる状況にある他者を尊重し、対話や交流を行い、互いにとって良い方向を見出そうとする姿勢を身に付ける

- 特別支援教育の推進
- 互いを理解・尊重する活動の推進
- 多様な価値観を踏まえた協働の推進

3

自分と社会をより豊かにするための 生涯にわたる学びの支援

人生100年時代において学び続ける意欲を高め、自らの興味関心に基づいて社会課題を自分事化して深める学びや、文化・芸術への関わりを深めること等により、それぞれの学習者の自己実現や地域コミュニティの基盤形成につながる学びを豊かにすることを旨とする

- 主体的に社会の形成に参画する態度の育成
- 社会教育や体験活動等の多様な学びの充実

4

心と体の健康に対する 理解と向上

自他の生命の大切さを認識し、心と体の健康に関する基本的な知識を身に付け、心身相関の関係性等を理解して実践につなげることで、全ての学びの基盤である心身を整える術を身に付ける

- 心と体の健康への理解と意識向上
- 身体活動の充実とスポーツを楽しむ意識の醸成
- 安全・安心に係る意識の向上

5

時代の変化に対応した 教育イノベーションの推進

教育の「不易（変わらない本質）」の部分も「流行」の部分も大切にしながら、県を挙げて「始動人」（自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持つ人）の育成につながる新しい取組に挑戦する

- 自分で考え動き出す【課題解決能力育成】
- デジタルツールを使いこなす【デジタル人材育成】
- 世界に目を向ける【グローバル人材育成】
- 教育DX【DXを基盤とした新しい学びの確立】
- 全ての人が活躍できる【誰一人取り残さない学び】

群馬の教育を推進する基盤となる5つの重点政策

1

「人」を支える取組の充実

教職員が能力を最大限に発揮できる環境を整備することで、児童生徒と教職員が生き生きと学び合える学校を実現する

- 教職員の働き方向上

2

これからの時代の学びを支える 施設・設備整備の推進

時代に応じて変化していく学びに対応するため、将来を見据えた施設・設備等の整備を推進する

- 県立学校の再編整備及び施設・設備整備の推進

3

これからの時代の学びを 見据えた体制の整備

学習者が活躍する将来の社会に必要な資質・能力を育む教育を推進するため、新たな学びの在り方に対応できる教育体制を整える

- 学校の魅力向上
- デジタル学習基盤の整備
- インクルーシブ教育推進に向けた体制整備

4

学びの充実に向けた 様々な主体による連携・協働の推進

学びを学校だけで完結させず、「家庭」「学校」「地域」「行政機関」「民間団体・企業」等の連携・協働により、学校教育・社会教育が相互に関わりを持ちながら、自己実現や持続可能な地域コミュニティの基盤となる生涯にわたる学びを広げていく

- 「地域とともにある学校」「学校とともにある地域づくり」に向けた取組の充実
- 生涯学習・社会教育を推進する環境整備

5

全ての子どもの学びを 支援する取組の充実

全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす教育を目指し、教育費負担の軽減を図りつつ、個別の課題を抱える子どもに対して、「教育」と「福祉」「保健」「医療」「司法」「地域」「民間団体・企業」等の連携により、年齢や背景の多様性等に応じた支援を行う

- 教育に係る経済的支援
- 不登校児童生徒等への支援の充実
- 様々な背景要因により本来持つしなやかさや力強さを発揮しづらい子どもに対する支援

※「目指す学習者像」は、5つの独立した人物像ではありません。一人の人に濃淡はあっても身に付けてほしい要素として位置付けています。